

アンケートの実施について

1 実施概要

(1) 目的

新総合計画の策定に当たり、各年代層からできる限り幅広く意見を聴き、それらの意見を計画に反映させるとともに、まちづくりに対する意識啓発を促すことを目的とする。

(2) 対象者

① 市民

18 歳以上の市民から 3,000 人を抽出

※令和 6 年 6 月 1 日現在の住民基本台帳から年齢、性別を考慮して無作為抽出。

ただし、同世帯からは 1 人の抽出

② 高校生

市内高校に在学する高校 3 年生 約 1,000 人

③ 大学生

市内大学に在学する最終学年の学生（短期大学 2 年生、大学 4 年生、大学院修士 2 年生） 約 1,500 人

(3) 実施時期（予定）

令和 6 年 7 月

※回答期間は約 3 週間

(4) 実施方法

① 市民

郵送配付、郵送回収又は WEB 回答

② 高校生

高校を通して配付、WEB 回答

③ 大学生

大学を通して配付、回収ボックスによる回収又は WEB 回答

※②③の対象者の中には①によりアンケートが郵送配付される場合があることから、学校を通して配付された調査票のみに回答するよう調査票に記載

(5) 回答率向上の工夫

① 市報、市ホームページ等での告知と協力依頼を掲載

② 回答期限前に調査への回答協力の依頼文書を郵送

③ 設問の平易化・簡素化

2 市民アンケートの主な内容

項 目	設 問	設問のねらい
(1) 回答者属性	・ 性別 ・ 年齢 ・ 居住地域 ・ 世帯状況 ・ 出身地 ・ 居住歴 ・ 就業・通学形態 ・ 婚姻状況	・ 回答者の基本情報を得る。 ・ クロス集計項目に活用する。
(2) 現行計画に対する満足度・重要度調査及び施策に対する意見	・ 現行計画の満足度・重要度評価（５段階評価） ・ 市政への自由意見記述欄	・ 現行計画の評価・検証に活用する。 ・ 基本構想及び基本計画の検討に活用する。
(3) 暮らしの満足度（幸福度）・地域での暮らしについて	・ 暮らしの満足度（幸福度）の把握 ・ 将来の暮らしへの不安 ・ 本市の暮らしやすさ ・ 定住意向とその理由 ・ 本市への誇り ・ 本市への期待 ・ 暮らしで感じること	・ 住民の総合的な暮らしの満足度（幸福度）を把握し、生活課題を把握する。 ・ 住民の定住に向けて取り組むべき課題の把握、施策の検討の基礎資料とする。 ・ 暮らしの満足度（幸福度）を高める上で、住民の主観的な意向を把握する。
(4) 将来像	・ 住民が期待する目指すべき将来像 ・ まちづくりに対する意見、提案	・ 基本構想及び基本計画の検討に活用する。

3 高校生・大学生アンケートの主な内容

項 目	設 問	設問のねらい
(1) 回答者属性	・ 性別 ・ 居住地域 ・ 出身地	・ 回答者の基本情報を得る。 ・ クロス集計項目に活用する。
(2) 進路・働き方について	・ 進路希望 ・ 進学希望地 ・ 就職希望地 ・ 職業希望 ・ 就職選択時の重視事項	・ 若者の就職意向や居住意向を把握し、仕事や居住地へのニーズを掴む。 ・ 若者の移住・定住に向けて取り組むべき課題の把握、施策の検討の基礎資料とする。
(3) 暮らしの満足度（幸福度）・地域での暮らしについて	・ 暮らしの満足度（幸福度）の把握 ・ 将来の暮らしへの不安 ・ 本市の暮らしやすさ ・ 定住意向とその理由 ・ 本市への誇り ・ 本市への期待 ・ 暮らしで感じること	・ 住民の総合的な暮らしの満足度（幸福度）を把握し、生活課題を把握する。 ・ 住民の定住に向けて取り組むべき課題の把握、施策の検討の基礎資料とする。 ・ 暮らしの満足度（幸福度）を高める上で、住民の主観的な意向を把握する。
(4) 将来像	・ 住民が期待する目指すべき将来像 ・ まちづくりに対する意見、提案	・ 基本構想及び基本計画の検討に活用する。